

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	英語	6	18

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
基礎・基本の 定着	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○目次に各 Unit の「活動目標 (GOAL)」を提示している。 ○単元である Unit ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.83】 ○Unit6 Research Your Topic [題材]身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 [活動]身近なことに</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である PROGRAM ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.49】 ○PROGRAM 4 High-Tech Nature 1 大きさや程度を比べることについて表記する。 2 生物をヒントにして作られたものに</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Lesson の活動ごとに領域別の目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.71】 ○Lesson 5 Things to Do in Japan [USE Read]日本を訪れる予定のニュージーランドの中学校の先生から届いたメールを読もう。</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Lesson 中の Part ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.66, 68, 70】 ○Lesson 6 Castles and Canyons Part 1 高さや古さなどを比べて、違いを伝えよう。 Part 2 日本の城に</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Unit ごとに関連する領域別の目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.31】 ○Unit 3 Plans for the Summer [Reading]メールから、予定や希望などを読み取ることができる。</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Unit の Part ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.91】 ○Unit 7 Let's Compare [Part 1]人やものについて、比較して説明することができる。 [Part 2]つづりの長い形容詞を使って、比較</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>ついて、特徴を比較しながら説明することができる。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Unit1 : A Trip to Singapore ○Unit2 : Food</p>	<p>ついて話す。</p> <p>3 インタビュー活動などに意欲的に取り組む。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Program3 : Taste of Culture Program5 : Work</p>	<p>[USE Write]日本の中学生に人気のあるものを調べてレポートを書こう。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Lesson2 : My Dream ○Lesson5 : Things to</p>	<p>ついて伝えよう。</p> <p>Part3 自分の住んでいるところについて伝えよう。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Lesson2 : Our Energy Sources ○Lesson3 : Design in</p>	<p>[Writing]予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Unit2 : Basketball Tournament ○Unit3 : Plans for</p>	<p>して説明することができる。</p> <p>[Part 3]人やものについて、「～と同じくらい…」とすることができる。</p> <p>[Read & Think]人気のあるスポーツについての対話文を読んで、概要を理解し、内容について考えることができる。</p> <p>[Express Yourself]睡眠時間を比較して発表することができる。</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Unit2 : Traveling Overseas ○Unit3 : In Case of</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	1 6 三省堂	1 7 教出	3 8 光村	6 1 啓林館
	<p>Travels around the World ○Unit3 : My Future job ○Unit4 : Homestay in the United States ○Unit5 : Universal Design</p> <p>【具体例（第2学年） want to】 ○Unit2 : Food Travels around the World I <u>want to</u> go there sometime. I <u>want to</u> eat curry pilaf.</p>	<p>Experience</p> <p>【具体例（第2学年） want to】 ○Program3 : Taste of Culture I <u>want to</u> see your performance. I <u>want to</u> eat an “American dog.” What do you <u>want to</u> have? I <u>want to</u> have something sweet.</p>	<p>Do in Japan ○Lesson6 : Tea from China ○Lesson7 : <i>Rakugo</i> Goes Overseas</p> <p>【具体例（第2学年） want to】 ○Lesson2 : My Dream I <u>want to</u> work at a farm. I <u>want to</u> go with you. I <u>want to</u> grow better vegetables and bring more happiness to people. I <u>want to</u> be a farmer. So I <u>want to</u> grow healthy and organic</p>	<p>Our Life ○Lesson4 : Workplace Experience ○Lesson5 : How to Celebrate Halloween ○Lesson6 : Castles and Canyons ○Lesson8 : <i>Rakugo</i> in English</p> <p>【具体例（第2学年） want to】 ○Lesson6 : Castles and Canyons What place do you <u>want to</u> visit next? I <u>want to</u> see Himeji Castle.</p>	<p>the Summer ○Unit4 : Tour in New York City ○Unit6 : Work Experience ○Unit7 : Amazing Australia ○Unit8 : Staging a Musical</p> <p>【具体例（第2学年） want to】 ○Unit4 : Tour in New York City I <u>want to</u> see the Statue of Liberty. I also <u>want to</u> see a musical and go to Central Park. What do you <u>want to</u> see in New York? I <u>want to</u> see Aladdin!</p>	<p>Emergency ○Unit4 : My Future Dream ○Unit6 : Unique Animals ○Unit7 : Let’s Compare ○Unit8 : Working Overseas</p> <p>【具体例（第2学年） want to】 ○Unit4 : My Future Dream I <u>want to</u> help people, too. I <u>want to</u> write stories in the future. I <u>want to</u> develop a useful robot and help people with it.</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
			vegetables for everyone. I want to learn technology to improve farming			
主体的に学習に取り組む工夫	1 興味・関心を高めるための工夫 【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】 ○「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Write」で日常生活の場面を設定し、Step 1～3で「話すこと」「聞くこと」「書くこと」などの活動を設定している。 (例：第2学年) 【テーマ】 ○ホテルでのトラブル ○機内放送	1 興味・関心を高めるための工夫 【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】 ○「Power Up」の「Listening」「Listening & Speaking」「Speaking」「Listening & Speaking」「Writing」で日常生活の場面を設定し、4技能の活動を設定している。 (例：第2学年) 【テーマ】 ○天気予報を聞こう ○電話をかけよう ○レストランで食事	1 興味・関心を高めるための工夫 【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】 ○「Take Action!」の「Listen」と「Talk」で、日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。 (例：第2学年) 【テーマ】 ○図書館の案内 ○どんなストーリーなの？	1 興味・関心を高めるための工夫 【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】 ○「Useful Expression」で日常的な場面を設定し、そこで使われる表現を紹介している。 (例：第2学年) 【テーマ】 ○校舎案内 ○買い物	1 興味・関心を高めるための工夫 【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】 ○「Daily Life」で日常生活を設定し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を設定している。 (例：第2学年) 【テーマ】 ○電話 ○アナウンス ○レストラン	1 興味・関心を高めるための工夫 【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】 ○「Let's Talk」「Let's Listen」で日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。 (例：第2学年) 【テーマ】 ○待ち合わせ ○旅行の準備 ○体調

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>○ていねいなお願い ○インタビュー ○留守番電話のメッセージへの返信 ○天気予報 ○ホームステイのお礼状 ○電車の運行状況 ○電車の乗りかえ ○留守番電話 ○買い物 ○商品のコマーシャル ○電話でのやり取り ○店内のアナウンス</p> <p>【具体例】 ○「Let's talk 2」でいねいなお願い Asami : Excuse me. May I ask you a favor? Woman : Sure. Asami : Could you take our picture? Woman : All right. Say cheese!</p>	<p>をしよう ○空港アナウンスを聞こう ○メールで近況報告をしよう</p> <p>【具体例】 ○「Power Up2」電話をかけよう Matt : Hello? Keho : Hello. This is Kaho. May I speak to Matt? Matt : Speaking. What's up? Kaho? Keiko : Hi, Matt. We have a meeting</p>	<p>○チャリティーのお知らせ ○それはいい案だね ○空港のアナウンス ○何が起きたの? ○イベントの紹介 ○一緒に遊園地に行かない? ○ラジオニュース ○お手伝いしましょうか ○プレゼントの相談 ○それもいい案だと思うけど</p> <p>【具体例】 ○「Take Action!」 「Talk6」 それもいい案だと思うけど Hana : What should we get for Mayumi? Dinu : I have an idea. How about flowers? Hana : Well, that's not a bad idea, but</p>	<p>【具体例】 ○「Useful Expressions」校舎案内 ALT : Excuse me. Where's the teacher's room? Aya : It's on the second floor. Go up the stairs and turn right.</p>	<p>○道案内 ○イベントのお知らせ ○体調不調 ○観光案内 ○音声ガイド</p> <p>【具体例】 ○「Daily Life3」 「Scene3」レストラン 店員 : Shall I take your order? 客 : Yes, please. Can I have a large-size pizza with three toppings? 店員 : Sure. What kind of topping?</p>	<p>○天気予報 ○レストラン ○機内 ○道案内 ○搭乗案内 ○ショッピング ○電話 ○場内アナウンス</p> <p>【具体例】 ○「Let's Talk 3」体調 アオイ : What's wrong? Are you all right? チェン : I have a headache. アオイ : That's too bad. You should go to the nurse's office.</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>Asami : Could you take another one, please? Woman : OK. No problem.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○「GOAL」として、単元の最初に目標を設定し、単元末に「CHECK」として、「題材」と「活動」について4段階で評価するようにしている。 ○巻末に「学習を振り返ろう CAN-DO リスト」を設定し、各学</p>	<p>tomorrow, right? Could you bring your sketchbook? We'll need it. Matt : Sure. Thanks for calling. Kaho : See you tomorrow. Bye.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○"Goal"として、単元の最初に目標を、単元内に振り返りを設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 ○巻末資料に「英語で『できるようになったこと』リスト」として、5領域別に学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>	<p>cookies might be better. I think she likes sweets better than flowers. Dinu : You're right. Let's make them.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○巻末に、「What Can I Do?」として、CAN-DO リストを示し、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>	<p>ALT : Turn right on the second floor? Aya : That's right. It's the second room. ALT : I see. Thank you. Aya : You're welcome.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○単元末に振り返りを設定している。 ○付録に「Can-Do 自己チェックリスト」を示し、5領域別の学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。</p>	<p>客 : Tomatoes, onions, and sausage, please. 店員 : Would you like some drinks? 客 : Oh, yes. Three sodas, please. Will you bring them now? We're thirsty. 店員 : I'll be right back with your drinks.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 「Goal」として、単元の最初に領域別の目標を、設定している。 単元の最後に、振り返りを設定している。 ○巻末付録に、CAN-DO List を示し、5領域別に学習到達目標を設定し、4段階で評価するように</p>	<p>チェン : All right. I will. Thanks.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○単元の最初に単元の目標を設定している。 ○巻末に「Can-Do リスト」として、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>年の5領域別の学習到達目標を Stage 1～Stage 3まで示し、4段階で評価するようにしている。</p> <p>【具体例（第3学年）p.16, 巻末】 ○Unit1 Sports for Everyone 「GOAL」及び「CHECH」 [題材]障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結び付けるスポーツの力について考える。 [活動]これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 ○中学3年の目標 (例)聞くこと Stage1 クラスメートの経験などについて、自分になじみのない話で</p>	<p>達目標を設定し、達成していれば日付を記入するようにしている。</p> <p>【具体例（第3学年）p.9, 13, 14の右下】 ○PROGRAM1 Bentos Are Interesting! Goal 1 「人が…するのは～だ」などを表現する。 2 日本や海外の弁当文化について話す。 3 自分の大事なもののなどについて、意欲的に表現する。 ○英語で「できるようになった」リスト (例)聞くこと 1 アルファベットを聞いて、どの文字かわかる。</p>	<p>【具体例（第3学年）巻末】 What Can I Do? (例) Listen 聞くこと 必要な情報を聞き取る ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取ることができる。 →Listen1,3</p>	<p>【具体例（第3学年）p.17, 巻末】 ○Lesson1 Aya Visits Canada Lesson1 をふり返ろう ・現在完了形の文を理 解して、使うことができ る。 ・ホームステイでのさ まざまな体験につい て、英語で理解した り、伝えたりすること ができる。 ・ホームステイでのさ まざまな体験につい て、会話を演じたり、 まとまった文を書い たりすることができ る。</p>	<p>している。</p> <p>【具体例（第3学年）p.17, 174】 ○Unit1 School Life Around the World 「Goal」及び「振り返り」 ・学校紹介の記事か ら、日本の学校との違 いを読み取ることが できる。(R-1) ・読んだ記事につい て、意見を発表するこ とができる。(SP-3) ○CAN-DO List (例)聞く Listening L-1 はっきりと話され れば、日常的な話題に ついて、必要な情報 を聞き取ることができ</p>	<p>【具体例（第3学年）p.7 142】 ○Unit1 Food Cultures Unit1 の目標 ・Part1 これまでに 経験したことを言う ことができる。 ・Part2 これまでに 経験したことをたず ねることができる。 ・Part3 現在までに やり終えたことを言 うことができる。 ・Read & Think ハ ラール・フードにつ いての文章を読んで、概 要を理解し、内容につ いて考えることがで きる。 ・Express Yourself</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>あっても、必要な情報や概要を理解することができる。</p> <p>→U 1, LL 2, LL 3, SA 1</p>			<p>○Can-Do 自己チェックリスト</p> <p>(例) 聞くこと①</p> <p>社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば、要点を理解することができる。</p>	<p>る。</p>	<p>好きな食べ物・苦手な食べ物を伝えることができる。</p> <p>○Can-Do リスト</p> <p>(例) 聞くこと ア</p> <p>はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報をききとることができる。</p>
<p>内容の構成・配列・分量</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Unit 0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面の活動をしよう ・英語の音と文字 <p>*Unit 1～小学校の既習事項には「小」のマークがついている (p.10「小学校の単語」)</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Get Ready1-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ！みらい中学校へ ・みらい中学校の仲間たち ・新しい仲間インタビューしよう ・自分のことを友だちに知ってもらおう 	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Hello, Everyone!</p> <p>○Starter1～3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字と音 ・コミュニケーションを楽しもう (1) (2) <p>*Lesson1～3 小学校で体験した場面で話される会話を聞</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Springboard1・4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Nice to meet you! ・さまざまな会話 ・音声から文字へ ・Sugoroku <p>*Lesson1・3 身近な生活に即したコミュニケーション活動を</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Let's Be Friends!1-7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で人とつながろう ・好きなものでつながろう ・世界のどこかへ行ってみよう ・数字を聞いて動物を 	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Let's Start1-7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での会話を聞こう ・町での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・英語の文字が表す音を聞こう ・英語の文字が表す音

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>*p. 121 までは小学校外国語教育教材と同じフォントを使用している</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○Unit0 Welcome to Junior High School 「小学校で習った英語表現を①～④の場面で使ってみよう！」 ①はじめて出会うクラスメートとあいさつをしよう ②先生の指示に合わせて動こう</p>	<p>○PROGRAM 0 ・アルファベットを確かめよう ・つづり字と発音 *1年生の前半は（p.52まで）、小学校外国語教育教材と同じフォントを使用している</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○新しい仲間にインタビューをしよう ①ミラー先生へのインタビューを聞いて、わかったことをメモしましょう。 ②「なりきりインタビューゲーム」をして、たくさん質問し合しましょう。</p>	<p>く・話すから始まっている（p.17）</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○コミュニケーションを楽しもう（1） 聞いてみよう ①ケイトと丘先生が、わかば中学校の行事予定表を見ながら話しています。いつ、どんな行事があるのか聞いてみよう。 ②ケイトがバースデー</p>	<p>重視している。 *Word List（p. 148～p. 151）の中に、小学校で学習したとみなした語を意味別グループで示している。</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○小学校で学んだ表現を使ってすごろくゲームを楽しみましょう。（例） When is your birthday? Talk about your treasure. What time do you get</p>	<p>探し出そう ・誕生日をたずね合おう ・アルファベットを聞いて書こう ・英語の音とつづりを確かめよう *Unit3 までを、準備期間として文字を読む負担を減らしている。 *Word List（p. 158）の中に、小学校で学習した語を花びらマークで示している。</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○世界のどこかへ行ってみよう Kazuki : Where do you want to go? Nick : I want to go to ... Speak 自分の言っている国に✓を入</p>	<p>に慣れよう ・数字を聞いて使ってみよう ・英語を聞いて使ってみよう *小学校英語でも採用されている5:6:5の4線を使用</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○英語を聞いて使ってみよう （例）小学校の思い出の行事を言ってみましょう My favorite memory is the <u>school trip</u>. It was great. あなたが参加したい部活動や、してみたい</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>③好きなものをたずね合おう (例) A: What food do you like? B: I like curry and rice.</p> <p>④入りたい部活動について話そう</p>	<p>〈質問カード〉 Do you like~? Can you play~? Are you~? When is your birthday? What do you want to be? Where are you from? ③先生に英語でたくさん質問をして、わかったことをメモしましょう。 ④友だちにたくさん質問をしましょう。例を参考に、聞きとったことを下の表に記入しましょう。</p>	<p>一パーティーの写真を見せながら丘先生と話しています。それぞれの誕生日について聞いてみよう。 話してみよう ペアやグループで、学校行事や、あなたの誕生日について話してみよう。</p>	<p>up? Where do you want to go? What sports do you like? What can you do?</p>	<p>れましょう。グループになってたずね合い、いちばん人気のあった国名を書きましょう。 Write 自分の行ってみたい国を下に書きましょう。</p>	<p>ことを言ってみましょう。 I like <u>tennis</u>. I want to <u>join the tennis team</u>.</p>
<p>内容の表現・表記 (例：第2学年)</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「資料編」として、次の資料を掲載している。(pp.128~159: 32 ページ分) 1 Optional Reading①・②</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。(pp.126~159: 34 ページ) 1 Scenes のまとめ 2 クイック Q&A</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「付録」として、次の資料を掲載している。(付録1~50: 50 ページ分) 1 Songs 英語の歌 2 Further</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。(pp.130~167: 44 ページ分) 1 語形変化のまとめ</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「付録」として、次の資料を掲載している。(p.3 参照: 9 ページ分) 1 Your Coach ・リスニングを得意に</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「付録」として、次の資料を掲載している。(p.3 参照: 4 ページ分) 1 こんなときどう言うの?</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	2 名作鑑賞 3 小学校の単語 4 Word List 5 形容詞・副詞比較変化表 6 不規則動詞変化表 7 2年 Key Sentence・Today's Point 一覧 8 1・2年 表現のまとめ ○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 ・Word Room	3 英語の音声 4 英語のつづり字と発音 5 短縮形のまとめ 6 数の言い方 7 アイディアの広げ方 8 不規則動詞活用表 9 形容詞・副詞比較変化表 10 台所 11 単語や熟語 12 英語で「できるようになったこと」リスト 13 Try のまとめ 14 いろいろな職業 15 日本の祝日・学校行事 ○「付録」として、次の資料を掲載している。 ・アクションカード1～4	Listening English Rakugo 3 Further Reading1 Houses and Lives 4 Further Reading2 Courage 5 Sounds つづりと発音 6 基本文のまとめ 7 いろいろな単語 8 不規則動詞活用表 9 形容詞・副詞比較変化表 10 数の表現と数の読み方 11 単語の意味 12 会話表現 13 Role-Play Sheet ロールプレイシート 14 Audio Scripts スクリプト	2 形容詞・副詞比較変化表 3 不規則動詞変化表 4 重要構文復習リスト 5 辞書についていっしょに学ぼう！ 6 Word List 7 筆記体 ○「巻末付録」として、次の資料を掲載している。 1 Tips④活動用カード 2 つづりと発音 3 Can-Do 自己チェックリスト	しよう ・話す内容を詳しくしよう ・英文を読むコツをつかもう ・得意な話題を増やそう 2 Sing a Song ・You'll Never Walk Alone ・I Just Called to Say I Love You ・A Whole New World ○「巻末付録」として、次の資料を掲載している。 1 Let's Read More ・The Statue of Liberty ・Aboriginal Art 2 英語のしくみ 3 数字の読み方／短縮形のまとめ 4 音声のまとめ 5 不規則動詞活用表／形容詞・副詞の変	2 メール 3 ジェスチャー 4 英語の歌 ・Top of the World ・I Just Called to Say I Love You 5 2年基本文のまとめ 6 英語のつづりと発音 7 不規則動詞変化表 8 形容詞・副詞比較変化表 9 数の読み方 10 Word Box 11 Word List 12 Can-Do リスト 13 ローマ字表 [ヘボン式]

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○小学校の外国語科でふれた主な語を一覧にしている。</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生で出てきた語と意味を一覧にしている。 ・特に覚たい語を太字で表記している。 ・その意味が初めて出たページと数字で表記している。また、その意味が1年生で既出の単語は斜体の数字で表記している。 ・その単語が1年生で出て、2年生で出ていない場合は白抜きで表記している。 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○単語と熟語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この教科書で初出の単語及び連語を太字で表記している。 ・この教科書で初出の固有名詞などと、前の学年で学習した語句を細字で表記している。 ・特に重要な語を*印で表記している。 ・その単語及び連語などがこの教科書で初出のページを太字の数字、初めて出た学年を四角囲みの数字で表記している。 ・辞書で熟語などを調べるとき、まず調べる 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○単語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・()の中は省略できることば, []の中は置き換えられることば, ()の中の言葉は解説が表記されている。 ・数字は2年で初めて出るページを表記している。(イタリック体の数字は1年までに学習したことを表す。) ・①は1年で学習した語を表記している。 ・大切な語をゴシック体で表記している。 ・特に大切な語をゴシック体の太字で表記 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出てきた語と小学校で既出とみなした語の発音と意味を表記している。 ・活動や Further Reading で出てきた語で、未習のものは後掲している。 ・特に覚たい単語を太字で表記している。 ・その意味が最初に出たページを数字で表記している。 ・小学校で既習とみなした語と中学校1年で既出の語は数字をイタリック体で表記している。 	<p>化表</p> <p>6 Word List</p> <p>7 基本文のまとめ</p> <p>8 CAN-DO List</p> <p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った語を花びらの記号で表記している。 ・数字は、その意味がこの教科書で初めて出るページを表記している。 ・①は1学年で既出の意味を表記している。 ・特に重要な語は太字で表記している。 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に覚えておきたい語を太字で表記している。 ・2年の教科書で初出の単語や連語を数字で表記している。そのうち、Let's Listen, Project で出たページをイタリック体の数字で表記している。 ・その後や連語が Let's Listen, Project で先に出たときは、となりに後掲ページを示している。 ・①は1年でその語や連語が出たことを表記している。2年でも

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>・「小学校の単語」に・ (赤点) を付けてい る。</p> <p>(例) as [æZ/ðZ] 接 前 接 ①【時】…のとき、 …するにつれて ②【比較】～と同じく らい… [ふつう as...as ～の形で用いられる。 前の as は副詞] 前 ①…として ②…のような as for…について言え ば twice as...as～ ～よ り2倍</p>	<p>とよい単語を本の記 号で表記している。</p> <p>(例) *as [æZ/ðZ] 副 (as ~as...の形 で) …と同じくらい～ 前 ～として not as ~as... …ほ ど～ない</p>	<p>している。 ・覚えておくと便利な 語を印字体で表記し ている。</p> <p>(例) as [æZ] 前 1. …として、… の時に、 —my goal as a farmer. 2. [such as ...] …の ような、 —visitors such as families, students, and tourists. 接 1. [比較] [as...as A] A と同じ くらいに… (前の as は「それと同じだけ …」の意味で副詞, あ との as が「(A が) … である[する]ように」 の意味で接続詞)。 —My cat is as cute</p>	<p>・小学校で既出とみな しているが、中学校2 年の教科書では未出 のものは白抜きで① で表記している。 ・①は中学校1年で既 出の語を表記してい る。</p> <p>(例) as [ðZ] 接 ①→such ②(～ する) ように as you know ご存じのように ③ [as ~as...で] …と 同じくらい～ as well as～ ～と同様に 前 ～として</p>	<p>(例) as [æZ/ðZ] 前 ～として 副 同じくらいに as ~as... …と同 じほど～ 接 ～するように</p>	<p>新出語句として取り 上げている語や語句 については、①のとな りにページを表記し ている。</p> <p>(例) as 前 ～として 接 [as ~as...で] …と 同じくらい～</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末「学習を振り返ろう CAN-DO リスト」</p> <p>○Stage 1～Stage 3 として、段階ごとに各領域の1学年学習到達目標を設定し、それぞれを4段階で自己評価できるよう示し</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末資料「英語で『できるようになったこと』リスト」</p> <p>○領域毎に3年間を通してがの学習到達目標を設定し、できるようになったことには日付の下に○を付けるようにしている。</p>	<p>as yours.</p> <p>2. [時間] (…する) 時に; …しながら</p> <p>—The Little Prince said, “That’s sad.” as he left.</p> <p>副 [as...as A] A と同じくらいに…</p> <p>—My cat is as cute as yours.</p> <p>such as...たとえば…のような</p> <p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末「What Can I Do?」</p> <p>○領域毎に2～4項目の1学年学習到達目標を設定し、できるようになったことにチェックするようにしている。</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末「Can-Do 自己チェックリスト」</p> <p>○領域毎に1～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。</p> <p>○2学年、3学年の各領域の学習到達目標</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末付録「CAN-DO List」</p> <p>○領域毎に2～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるように示している。</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末付録「CAN-DO リスト」</p> <p>○領域毎に3項目 (ア・イ・ウ) の学習到達目標が「中学校3年生までに行えるようになること」として設定し、できるようになった項目にチェッ</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>ている。</p> <p>○2学年末, 3学年末の各領域の学習到達目標を参照できるようにしている。</p> <p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○関心のある事柄や体験したことなどについて, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(～40語程度)</p>	<p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○社会的な話題(外国の文化, 国際協力, 社会問題など)について, 聞いたり読んだりした内容に関して感じたことや考えたこと, その理由などを書くことができる。</p>	<p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○正確に書く 自分を紹介する短い文章を書くことができる。</p> <p>○まとまりのある文章を書く 学校行事や町について, 短く簡単な記事や紹介文を書くことができる。</p>	<p>を参照できるようにしている。</p> <p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○自分のことについて, 日記, 手紙, スピーチ原稿などの短い文でまとめることができる。</p> <p>○聞いたり読んだりして把握した内容を, 短い文章でまとめることができる。</p>	<p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○読まれた文字や語句を活字体で書いたり, 簡単な語句や表現を書き写したりすることができる。</p> <p>○自分のことや興味のあることについて, 教科書や辞書などを参考にして, 書くことができる。</p> <p>○日常的话题について, 事実や気持ちを整理して, 簡単な語句や文を使って, まとまりのある文章を書くことができる。</p>	<p>クするようにしている。</p> <p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>ア 関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</p> <p>イ 日常的话题について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを, 簡単な語句や文を用いて書くことができる。</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
言語活動の 充実	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Unit2 : Food Travels around the World</p> <p>・Practice 自分が難しいと思う教科について、「…は難しいと思います」という文を言い、ノートに書く。</p> <p>・Unit Activity</p> <p>STEP1 自分の好きな食べ物やお気に入りのレストランについて、表にまとめる。</p> <p>STEP2 ペアになり、STEP1 で作った表をもとに自分のお気に入りのレストランを紹介し合う。ま</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○PROGRAM2 : Leave Only Footprints</p> <p>・Try 自分たちの学校についてどう思うかを話す</p> <p>・Interact</p> <p>以下の二つのテーマについて、グループなどで自分の考えを伝え合う。</p> <p>①Our School Trip 修学旅行の自由行動では、どこに行ってみたいか。</p> <p>②A Good Pet ペットにするならどんな動物がよいと思うか。</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Lesson1 : Fun with Books</p> <p>・Speak & Write</p> <p>おすすめの本や漫画、映画などを紹介し、紹介したことを書く。</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Lesson1 : Service Dogs</p> <p>・Think & Try!</p> <p>会話を演じた上で、その英文をヒントに、質問したり、自分の考えを言ったりするなど、自由にやり取りを加える。</p> <p>Bob : There aren't enough guide dogs.</p> <p>Aya : Why not?</p> <p>Bob : These dogs live with puppy walkers for about a year.</p> <p>Then, they need training for another year.</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Unit2 : Basketball Tournament</p> <p>・Speak. Write</p> <p>一番良い季節、難しい教科について、自分の考えをペアで伝え合い、そのうちの1つを選んで英語で書く。</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Unit3 : In Case of Emergency</p> <p>・Use</p> <p>質問 (Do you think that fast food is good?) に対して、自分がどう思うかを理由も加えて言い、言ったことを英語で書く。</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>た、相手の紹介を聞いて、重要だと思う情報はメモを取る。</p> <p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Unit Activity ○Stage Activity 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Stage Activity1 : My Activity Report (pp.48~50)</p> <p>(テーマ) これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。 ・STEP1: 二人の活動報告を聞いてメモを取る。 ・STEP2: 自分の活動について報告したいことを表にまとめ、即</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Our Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Our Project8 : あなたの町を世界にPRしよう (pp.85~89)</p> <p>(テーマ) 世界にPRしたい町にあるものや場所を発表する。 ①モデルPR動画を聞いたり、台本を読んだりする。 ②PRするものを表にまとめ、台本を考える。</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Project1 : 日本限定アイスクリームを提案しよう (pp.32~33)</p> <p>(テーマ) 日本限定アイスクリームのアイデアを考え、提案する。 1. Listen : 二つのグループのモデル提案を聞く。 2. Think & Talk : 新しいアイスクリーム</p>	<p>Aya : I see. It takes time and effort.</p> <p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Project1 : CMをつくって発表しよう！ (pp.40~41)</p> <p>(テーマ) あったら良いと思う商品やサービスについてCMを作り、発表する。 ①CMを聞いて、商品やサービスの特徴などについてメモを取る。 ②あったら良いと思</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○各単元の Goal (pp.16~17) ○You Can Do It! 【テーマと具体例（第3学年）】 ○You Can Do It!2 : 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう (pp.48~49)</p> <p>(テーマ) 学校に必要なものについて考え、ディスカッションする。 ・Reading : 二人の中学生の提案を読み、賛成か反対かを考える。 ・Thinking : 二つの提</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Project2 : 日本の伝統行事を紹介しよう (pp.90~91)</p> <p>(テーマ) 紹介したい日本の伝統行事について、紹介文を書く。 ①日本文化を紹介するウェブサイトの記事を読んで、内容を表にまとめる。 ②日本の伝統行事を</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>興で発表する。</p> <p>・STEP3: 自分が話した文を書き起こした上で、グループでアドバイスを伝え合い、それを参考に活動報告の原稿を書き直す。</p> <p>・STEP4: もう一度活動報告を発表し合う。</p>	<p>③台本を基にPRを演じる練習をする。</p> <p>Go!</p> <p>他のグループとPRを聞き合ったり、質問し合ったりする。PRを聞き終わったら、一番良いPRをしたペアをディスカッションして決める。</p>	<p>のアイデアを話し合い、表にまとめる。</p> <p>3. Read: モデルとなる提案原稿を読む。</p> <p>4. Write: 提案するための発表原稿を書く。</p> <p>5. Speak: 日本限定アイスクリームについて発表する。</p>	<p>う商品やサービスについて話し合い、表にまとめ、CMの原稿を英語で書く。CMを発表する。</p>	<p>案のどちらかを議題として選び、立場とその理由を整理する。</p> <p>・Speaking: 賛成派と反対派に分かれ、ディスカッションを行う。</p>	<p>1つ選び、ウェブサイトに載せる紹介文を書く。書いた原稿を交換して読み合い、アドバイスをする。</p>